

しあわせ

vol.28

2024年10月



【巻頭言】医療・介護連携について

社会福祉法人 京都社会事業財団 理事 源野 勝敏

各施設の令和5年度 事業報告

法人本部事務局より

- ・ホームページについて
- ・ひだまり保育園 病児保育について
- ・セカンドキャリアについて
- ・法人職員目安箱（投書箱）の案内について

医療・介護等福祉施設におけるカスハラ対策

法人本部事務局 リスクマネージャー 有山 真智子

「桂坂紅葉 モミジバフウ並木」

SNSでも話題になっているモミジバフウの紅葉。京都西山・大原野の京都市西京区の桂坂ニュータウンの道路沿いにある並木道が京都の新たな“映え”紅葉スポットとして注目を浴びています。住宅街の東西南北に通る、道路沿いに約2kmに約400本のモミジバフウが植えられており、映えスポットは、御陵堂ヶ峰町方面から、東西に伸びる桂坂南本通り。高低差があり立体的にモミジバフウの並木道を一望でき、その光景はまるで天に昇る赤い龍のようにも見えます。【とっておきの京都プロジェクトウェブサイト】より

各施設の所在地

京都桂病院
京都厚生園
にしがも舟山庵
にしがも透析クリニック
西陣病院
京都からすま病院
北野保育園
成逸センター
にしがも舟山庵
にしがも透析クリニック
京都からすま病院
成逸センター
北野保育園
西陣病院
つばさ園・ももの木学園
くりの木ホーム
ゆずの木ホーム
榎の木ホーム
松陽児童館
ライフ・イン京都
二条保育園
二条駅
丸町駅
西大路通
丹波口駅
五条通
桂川
京都桂川園
久世障害デイサービスセンター・ショートステイ
丹波
八木東
京都縦貫道
亀岡
沓掛
阪急西院駅
京都厚生園
山田の家
京都桂病院
つばさ園・ももの木学園
ライフ・イン
京都
くりの木
ホーム
松陽児童館
京都桂川園
久世障害デイサービスセンター・ショートステイ
丸太町通
今出川通
千本通
堀川通
烏丸通
河原町通
川端通
東大路通
丸太町通
四条通
七条通
九条通
昭和保护園
昭和保护園
京都桂川園
京都桂川園久世障害デイサービスセンター・ショートステイ

 **社会福祉法人 京都社会事業財団**
Kyoto Social Welfare Foundation

法人本部 〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地（京都桂病院内） TEL075-391-5811代 / FAX075-393-0140
URL <https://kyoto-swf.com> E-mail honbu@kyoto-swf.com

季刊広報誌 しあわせ 発行/社会福祉法人 京都社会事業財団 編集/法人本部事務局 発行日/2024年10月25日 印刷/有限会社 アクト

法人職員 **2,500名**

 **社会福祉法人 京都社会事業財団**
Kyoto Social Welfare Foundation

令和5年度 各施設の 事業報告

西陣病院

事業総括 2023年5月よりCOVID-19は5類感染症に変更されましたが、陰圧室整備等を行い、診療を継続しました。1月から2月にかけて院内クラスターが発生し診療抑制を余儀なくされました。物価高騰による支出増で厳しい経営状況下において、地域医療の充実に向けた取り組みを継続し、一般診療と透析医療の提供に努めました。



- 重点項目**
- 1 近隣・かかりつけ・開業医・救急を由来とする患者さんの受け入れを徹底しました。
 - 2 地域のニーズに合ったケアミックス病院としての特徴を生かし、切れ目の無いきめ細かい医療を提供しました。

〒602-8319 京都市上京区五辻通六軒町西入溝前町1035
TEL: (075) 461-8800 FAX: (075) 461-5514
URL: <https://www.nishijinhp.com>
E-mail: nisijin@nisijin.net

京都桂病院

事業総括 「院内の連帯と地域との連携の実行」を行動方針とし医療マネージメント部を発足させ、地域医療福祉連携室・経営企画室・情報企画室などをまとめ連携を強化しDXを進め、引き続き高度急性期・急性期医療とがん医療と救急医療の充実を図った。COVID-19は5月より5類となり補助金は終了した。また脊椎脊髄センター開設の準備を行った。



- 重点項目**
- 1 COVID-19では、感染対策を継続し入院は各病棟で対応した。
 - 2 医療マネージメント部を設置し、院内外の連携、DXを推進した。
 - 3 ER、ICU、SCU、HCUは順調に稼働し、救急車搬送は5,973件を数えた。
 - 4 ダヴィンチ213件、腹腔鏡888件、胸腔鏡237件手術を施行した。

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町17番地
TEL: (075) 391-5811 FAX: (075) 381-4224
URL: <https://www.katsura.com>
E-mail: info@katsura.com

にしがも透析クリニック

事業総括 事業計画に基づき、高齢化対応やフットケアなどに注力し、透析回数5,240回、外来患者月平均34名、利用率84.2%を達成しました。今後も目標を透析患者数40名、1ヶ月の延べ透析回数450回とし、にしがも舟山庵、西陣病院と連携しながら、泌尿器科（透析）の診療を通じ、合理的で健全な運営を継続、地域医療に貢献する所存です。



- 重点項目**
- 1 医療安全管理（感染・医薬品・医療機器）
 - 2 新規・維持透析患者の確保
 - 3 透析導入実施医療機関、腎臓内科医、在宅医療に携わる医師や看護師との連携
 - 4 高齢透析患者への取り組み
 - 5 透析機器の保守管理、物価上昇、診療報酬改定対策

〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3番地の1
TEL: (075) 495-1131 FAX: (075) 495-1144
URL: <https://nishigamo-hdc.jp/>
E-mail: nishigamo-hdc@room.ocn.ne.jp

京都からすま病院

事業総括 4月から7月、断続的に発生したCOVID-19による院内クラスターで診療抑制せざるを得なかったことで大幅な赤字となりました。しかし、救急告示病院として体制を整え救急搬送患者の受入れは目標（120件/年）を大きく上回り297件/年、地域連携についても従来の枠組みを超え様々な医療機関や施設等と連携の仕組みができました。



- 重点項目**
- 1 健全経営：病床稼働率・外来患者数いずれも目標未達
 - 2 地域への貢献：救急搬送患者受入並びに地域行事へ参加は目標達成
 - 3 働きやすい病院：離職率改善には課題が残ったが他は改善
 - 4 チーム医療の推進：電カル導入により多職種連携が実現

〒603-8142 京都市北区小山上総町14
TEL: (075) 491-8559 FAX: (075) 492-4304
URL: <https://www.karasuma-hp.com>
E-mail: info@karasuma-hp.com

巻頭言

医療・介護連携 について

社会福祉法人 京都社会事業財団 理事 源野勝敏
(京都厚生園 名誉園長)



介護保険は今年度（2024年）から第9期計画（3年毎の策定）期間に入っています。基本指針の見直しとして、地域の実情に応じたサービス基盤の整備の中に「医療・介護双方のニーズを有する高齢者の増加を踏まえ、医療・介護を効率的かつ効果的に提供する体制の確保、医療・介護の連携強化が重要」と定められました。これを推進するために介護報酬改定にも「協力医療機関との連携体制の構築」として協力医療機関の要件を具体的に定めて義務付けられました。①医師又は看護職員が相談対応を行う体制②求めがあった場合の診療を行う体制③入院を原則として認められた入所者の入院を原則として受け入れる体制の確保（省令改正）と「定期的な会議の実施」「入院時等の医療機関への情報提供」「感染症対応力の向上」などの連携や支援を推進する加算が設けられました。

法人内の高齢者施設においては、従来から京都厚生園、京都桂川園、ライフ・イン京都は「京都桂病院」、にしがも舟山庵は「西陣病院」や「にしがも透析クリニック」に協力医療機関として緊密な連携のもとに質の高い医療サービスを提供を受けてきました。市内に特別養護老人ホームは100箇所程ありますが、同一の社会福祉法人内で総合病院が母体となり特別養護老人ホームを開設した唯一の法人が私たち京都社会事業財団です。

このような中、今回の医療連携の強化については模範的な姿に高め、具体化するために各病院との協定の見直しや定例の二つの連携会議（実効性のある連携体制の構築のため、入所者の現病歴等の情報共有を行うもの）（感染症関連の相談・指導を協議するもの）を実施しています。にしがも舟山庵と西陣病院も同様に進められています。この病院連携の仕組み作りには、法人本部会議での協議や両病院と各施設長との懇談を重ねた上で実現しました。

最後に、令和6年度からの中期計画には建物、設備の老朽化対策を掲げている施設があり、前述した模範的な医療・介護連携の構築はもとより、介護施設（高齢・障害）に求められるニーズへの対応に更に努めてまいりますので、今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

で初の特養を建設することになりました。家庭事情などで病院に住所を移して長期療養をされていた高齢者数名が最初の入所者でした。スタッフには看護師2名が病院からの異動と派遣、医師は6名の内科医が健康管理や診療を担当制で行いました。医療連携に恵まれた施設として専門誌や研究会での実践報告にも招聘されました。高度医療を担う京都桂病院の発展や高齢者施設に関わる制度環境も大きく変化してきましたが、「しっかりと病院さんがあるのは安心やわ」と言われる入所者やその家族の願いは変わりません。また、様々な在宅サービスや介護予防事業を行う上でも、法人内の病院が協力医療機関として支えていただいていることは忘れてはなりません。



二条保育園

事業総括 京都市の新しい人件費補助金制度により、経験年数の高い当園は今年度も大幅な減額となった。賞与の削減、昇給幅を下げる事、保育体制を整えつつ、途中入所の受け入れを増やすことで歳出の見直しを図った。



重点項目

- 1 自然と接するべく園外活動を増やし、縮小気味であった行事を感染症対策をしつつ例年通りに開催した。
- 2 環境整備、経年劣化での故障による電化製品の入替や園舎修繕を行った。
- 3 キャリアアップ研修を進め保育に還元。

〒604-8404 京都市中京区聚楽廻東町7番地
TEL: (075) 841-0139 FAX: (075) 841-6019
URL: <http://www.nijo-hoikuen.sakura.ne.jp>

北野保育園

事業総括 法人3ヵ園の保育基本理念「一人ひとりの子ども達が現在を生き活きと過ごし豊かな未来をつくり出す力の芽を育む」を保育実践として取り組み、様々な保育活動の見直しを進めた。



年長児の園外保育
滋賀県大津市の真野浜いあわせ

新型コロナウイルスが5類に移行で、感染防止対策を講じつつ保育活動をコロナ以前に戻し、園外活動の活発化を進めた。

重点項目

- 1 職員の労務管理を見直し、有給休暇の取得、残業時間の短縮等を進めた。
- 2 保育環境の整備を進めた。廊下床の天然素材のコルクに張替え等実施。
- 3 令和6年度に向けて常勤職員比率を上げるため、2名の常勤職員の内定確保。
- 4 北野保育園にとっては初めて男性保育士を採用した。

〒602-8318 京都市上京区七本松通五辻上老松町103-60
TEL: (075) 462-6491 FAX: (075) 462-9128
URL: <https://www.kyoto-kitanohoikuen.jp/>

京都桂川園

事業総括 「個々の成長が実感できる組織づくり」を目指し、改定した就業規則の遵守に努めると共に、人事考課制度の試行を開始した。また、組織管理体制や組織内の意思決定プロセス、人材の定着のための職員育成のしくみづくりなど、取り組む課題を明確化した。感染症対策と合わせ、協力医療機関である京都桂病院との連携の見直しを行った。



地域交流の再開

重点項目

- 1 事業継続計画（感染症・自然災害）の策定
- 2 第三者評価の受診と利用者主体のケアの在り方の見直し
- 3 人材確保の定着と職種ごとの育成課題の把握
- 4 中期計画の策定と地域との連携の再開
- 5 法人内感染症発生施設への職員派遣

〒615-8033 京都市西京区下津林東大般若町32番地
TEL: (075) 391-1675(代) FAX: (075) 391-1640
URL: <https://katsuragawaen.com/>
E-mail: info@katsuragawaen.com

京都厚生園

事業総括 令和5年度はBCP策定・中期計画策定・京都桂川園との協働など新体制に向けた準備を行いました。10月特養で新型コロナウイルス感染拡大・職員不足で同法人高齢・障害・京都桂病院・西京区訪問看護ステーション連絡会等関係機関の協力を得て終結しました。1月指導監査・運営指導を受け運営状況の点検を行うことができました。



重点項目

- 1 人材確保・利用者確保
- 2 介護予防・重度化予防の取組の強化
- 3 業務継続計画の策定と見直し
- 4 生産性向上の取組と人材育成
- 5 地域住民・関係者との連携の強化
- 6 次期介護保険制度・介護報酬改定に向けた準備

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46番地
TEL: (075) 391-7870 FAX: (075) 392-0191
URL: <http://www.kyotokouseien.com/>
E-mail: kswf@kyotokouseien.com

松陽児童館

事業総括 「おかえりなさいが待っている☆松陽児童館」をスローガンに関わった全ての人の心のよりどころとなれるような児童館を目指します。地域のすべての子どもたちの健やかな育ちを援助する活動と子育て家庭の支援に努めます。学童クラブは今後も人数増加が続くため、安心安全を確保できるよう環境整備を行います。



重点項目

- 1 子育て支援
- 2 遊びを通した子どもたちの健全育成
- 3 地域との連携
- 4 職員研修

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL: (075) 392-6311 FAX: (075) 392-6312
URL: <http://www.kyo-yancha.ne.jp/syouyou/index.html>
E-mail: syouyou@kyo-yancha.ne.jp

昭和保育園

事業総括 行動自粛が緩和したことから、保育園でも外向けのイベントを積極的に行い、保護者が行事に参加できる機会を増やしました。



職員の処遇について、休日手当や就業時間を見直し就業規則を改定する等、働きやすい職場環境を整えました。また若い人材確保のため、パンフレットの作成やSNSを活用した情報発信による広報活動に努めました。

重点項目

- 1 クラスをまたいだ異年齢間での保育の充実
- 2 地域子育て支援事業におけるプログラム内容の見直し
- 3 職員研修内容について、スタッフ間全員での情報共有
- 4 災害や酷暑に対応した備品整備及び危機管理マニュアルの更新

〒605-0994 京都市東山区鞆町七条下ル一橋宮ノ内町15-4
TEL: (075) 561-0091 FAX: (075) 561-0743
URL: <https://www.showahoikuen.net>
E-mail: showa.renga@showahoikuen.net

ライフ・イン京都

事業総括 コロナ5類移行後、基本感染対策を継続しながら面会制限を撤廃し、行催事や同好会活動も再開。ケアセンターひまわりでは空調設備の大規模改修を実施し、停電時も空調が使用可能となりました。経営面では急激な物価上昇を受けて管理費、食費の値上げの実施と本館入居一時金の初期償却導入により運営の安定化を目指しました。



重点項目

- 1 新規入居推進(実績:本館10名、ケアセンター11名)
- 2 看護・介護職員の人員配置2:1以上の継続
- 3 ケアセンターひまわり備品、設備の更新
- 4 コロナ前の日常を取り戻すことによる入居者の活性化
- 5 食事の質向上を目指したレストランコンペの実施

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町46-2
TEL: (075) 381-1870 FAX: (075) 381-1899
URL: <https://lifeinkyoto.or.jp>
E-mail: kswf@lifeinkyoto.or.jp

にしがも舟山庵

事業総括 令和5年度は「入居者の暮らしを支えることに自分の専門性及び強みを活かす」ことを行動方針として各種取り組みを進めた。令和2年度より感染症対応による制約のある支援が続いたが、今年度は気軽に外出や来訪受け入れができるようになり、祭りやイベント、家族懇談会の開催等以前と変わらない日常生活支援を徐々に取り戻すことができた。



重点項目

- 1 入居者を中心に考え動く原点に立ち返る
- 2 人とモノ（ICT等）の両面から介護環境を改善する
- 3 指導職研修内容の強化及び研修プログラムの見直しに着手する
- 4 経営の安定をはかる
- 5 地域との連携・貢献活動の推進

〒603-8471 京都市北区大宮西山ノ前町3-1
TEL: (075) 495-1121 FAX: (075) 495-1161
URL: <https://funayamaan.com/>
E-mail: funayamaan@room.ocn.ne.jp



「カスハラ」とは、「カスタマー・ハラスメント」の略で、顧客等（カスタマー）からの暴言、暴力、セクハラ、不当な要求等の迷惑行為をいいます。

従業員が客からの暴言や、土下座の強要、物を投げつけられる等の様子がSNSで拡散され、新聞やTVで度々報じられたことから「カスハラ」の言葉も広く知られるようになりました。これらカスハラの対応で心身に不調をきたし、休職や離職、さらには自ら命を絶つ等の状況が国の調査で明らかになっています。



医療・介護等福祉施設における

カスハラ対策

令和2年、厚労省は企業に対しパワハラなどハラスメント対策を義務化しましたが、カスハラ対策について先日新聞に、「企業のみならず病院や学校、福祉施設など公共施設においても義務化する方針」とありました。病院や学校、公共の施設でもカスハラによる休職や離職は深刻で、特に医療・介護の担い手不足をさらに加速する恐れもあり、国も対策の強化を求めています。

立場が違えばだれでも顧客になります。お互いマナーを守り気持ちよく対応したいですね。



さて、法人各施設の皆さんの職場ではいかがでしょうか。医療・介護施設だけではなく、児童保育施設等でも例外ではありません。正当なクレーム・苦情には丁寧な対応が基本ですが、一見正当でも長時間にわたり繰り返す、謝罪を強要する、等の行為もカスハラに該当する場合があります。その上、侮辱や人格を否定されるような場面に遭遇すれば誰でも心が折れてしまいます。職員の安全確保のためにも、今一度マニュアルの確認と職員への周知をお願いします。

最近では顧客への教育的視点から、契約書に「暴言、暴力、その他迷惑行為があれば利用をお断りする場合があります」等の文言や、ポスターでの啓発も推奨されています。

カスハラは組織での対応が重要です。何か困り事がありましたら些細なことでも一人で悩まず、まずは身近にいる職員や上司に相談しましょう。



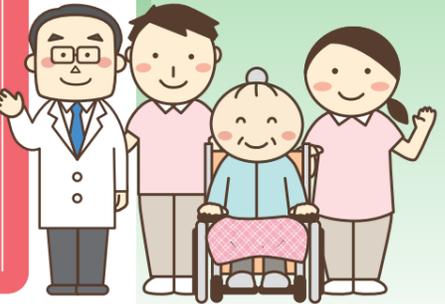
当法人本部事務局でも相談をお受けしています。
お気軽にご相談ください。



法人本部事務局
リスクマネージャー
有山 真智子

ネットやダウンロード可能なポスターやマニュアル

関西医科大学HPより
厚生労働省HPより
厚生労働省HPより



ももの木学園

事業総括 他府県からの入所が多く、さまざまな自治体や医療機関と連携をしています。被虐待の影響と発達障害が複雑に絡んだ状態の子どもに対して、生活支援を土台に、医学的、心理学的な評価をおこない、子どもの回復と成長の促進に施設全体で取り組みました。



- 重点項目**
- ① 定員を維持して事業を継続する
 - ② 生活-心理-医療-教育の専門性が有機的につながる個別のケアを行う
 - ③ 子どもに応じた自立の形を模索する

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL: (075) 381-3699 FAX: (075) 393-4316
E-mail: momonoki@sage.ocn.ne.jp

つばさ園

事業総括 社会的養育推進計画に沿って、JR亀岡駅前に分園型小規模グループを開設し、子どもたちは落ち着いて生活し始めております。被虐待児の様子は深刻ですが、つばさ方式に加え、必要な制度を利用し、落ち着きを取り戻してきています。一方、大学に進学したり、自分に合った高校に進学して頑張っている子どももいます。



- 重点項目**
- ① 都道府県社会的養育推進計画の検討
 - ② 被虐待児への支援
 - ③ 自立支援
 - ④ 里親推進
 - ⑤ 地域小規模児童養護施設の支援の充実

〒615-8256 京都市西京区山田平尾町51-28
TEL: (075) 381-3650 FAX: (075) 393-4316
E-mail: tsubasa@rondo.ocn.ne.jp

法人本部事務局より

check ホームページについて

当法人のホームページでは各施設が地域で提供している公益的な取り組み等を紹介しています。

また、こんな記事を読みたい・載せてほしいなどご要望もお待ちしております。

URL <https://kyoto-swf.com>

check ひだまり保育園 病児保育について

保護者が当法人施設にお勤めであればご利用いただけます。

【対象】 生後3カ月～小学校就学まで
【定員】 1名(先着順) ※連続2日間申し込み可
【料金】 1,320円(食事、おやつ、寝具、おむつ等込み)
【受付】 前日17:00までにお電話にて

※当日は京都桂病院 小児科の受診が必要です。

ぜひご利用ください

check セカンドキャリアについて

当法人本部事務局では、定年後の「セカンドキャリア」として、法人内各施設でどのような働き方ができるかを紹介させていただいております。

ご遠慮なくご相談ください。

check 法人職員目安箱(投書箱)の案内について

法人職員皆さまからの職場での悩み事やご意見、不法行為等の報告を受付けています。

なお、投書は無記名でも大丈夫ですが、連絡先・氏名等をご記入いただければお返事させていただきます。

URL <https://docs.google.com/forms/d/1wi4i5tbz4cqrSNF0F4nHfZy72ntC3zvNdL9fJJu5DxU/edit>

お問合せ・お申込み TEL (075) 392-2506 (直通)